レポート：
住宅市場は減速し始めている

最近のRedfinのレポートによると、住宅市場の急成長は鈍化し始めています。季節性を調整すると、住宅購入の申し込みは、住宅ローンの利率が低く、クレジットへのアクセスが容易であるにもかかわらず、1月と2月の平均レベルを7%下回っています。Redfinはまた、保留中の売上の4週間の減少と、同社の需要指数の3月下旬からの12%の減少を追跡しました。

6月6日までの4週間で、保留中の住宅販売は前年比で29%増加しました。季節調整済みの保留中の売上は、4週間前から9.7%減少しています。Redfinによると、突然の減速は、より多くの人々が自宅検索を一時停止し、休日の週末を利用することを選択したことが原因である可能性があります。

「住宅購入者は、家をツアーするよりもメモリアルデーの週末を過ごすためのより良い方法を見つけたかもしれませんが、ほとんどは市場から完全に撤退していません」とRedfinのリードエコノミスト、テイラーマーはリリースで述べました。「今年は厳しい市場に直面しており、低価格の魅力が薄れているため、購入するのに良い時期だと感じる人は少なくなっています。そのため、今のところそれを待つことを選択する人もいます。需要が安定するにつれ、住宅市場はよりバランスの取れたものになり、住宅購入者が家を見つけて競争するためのストレスや困難な時間を軽減できるようになるはずです。」

6月4日までの週の住宅ローン購入申し込みは週ごとに0.3%増加しました（季節調整済み）。6月10日までの週では、30年の住宅ローン金利は2.96%に減少しました。ファニーメイの住宅購入感情指数によると、消費者の35%が、4月の47%と1年前の52%から、5月に住宅を購入するのに良い時期だと述べています。

ホームツアーテクノロジー会社ShowingTimeによると、6月6日の時点で、ホームツアーは年初のレベルを26%上回っていましたが、2020年の同時期は40%でした。

Redfinはまた、4週間の間に、住宅販売価格の中央値が前年比24%上昇して過去最高の358,749ドルになり、新規上場住宅の提示価格が前年比14%上昇して史上最高になったと報告しました。最高$ 364,725。

Redfinの不動産エージェントであるキャンディス・スミス氏は、「市場は完全に停止しているわけではないが、利回りの兆しが見られている」と述べた。「バイヤーは、提示価格より60,000ドル以下のオファーで入札戦争に勝っています。ちょうど1か月前、同様の状況で、彼らは10万ドル以上の質問をしなければなりませんでした。入札戦争は今でも当たり前のことですが、競合するオファーの数は半分に減りました。」

Source: The Title Report https://bit.ly/3yZ3TKD

PROVIDENT TITLE COMPANY